

(その三)

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	2	5 9							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 2
当千葉工場の合成ゴムプラントで排出される、n-ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置工事は平成21年5月末に完成しました。
対策 3
①当千葉工場の高圧ポリエチレンのペレットサイロから排出される酢酸ビニルについて、サイロの排出バント配管を、ボイラーの燃焼空気に接続して酢酸ビニルを燃焼させている。平成19年10月に工事が完成し、平成20年2月より処理を開始した。
②エチレン工場のプロセスガスクロバントの大気放出からフレアーに接続(焼却)13台のプロセスガスクロの改造を、平成23年10月に完成して、11月から使用開始した。
③高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのバントラインをフレアーラインに接続して焼却する工事が平成24年2月に完成して、3月から使用開始した。
④高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減(フレアーラインに接続して焼却)環境省のVOC削減計画が確定したら、工事予算を策定して実施する。 平成23年10月にフレアーラインに接続ノズルの設置が完了した。

(その三)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	4 1	5 1	5 9						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>・ 出光興産(株)千葉工場では、これまでに固定屋根式タンクを内部浮屋根式タンクへ変更、および、排出ガス中の揮発性有機化合物を吸着回収する設備の設置等により大気中への排出量を減少してきた。</p>
<p>・ 平成21年度はポンプ軸封からの飛散を減少させるために、軸封の改善を実施した。</p>
<p>・ 平成24年度は大気への排出量削減のため、ポリカーボネート装置の排水ストリッパーの設備改造を行った。しかし、生産計画その他の要因で、一部施設の停止・稼働を繰り返したことから結果的に排出量は増加した。</p>
<p>・ 平成25年度、26年度、27年度は製造施設の安定運転継続により、排出量は通常レベルとなった。</p>
<p>・ 平成26年度～28年度にかけ、一部の製造装置を停止、廃止したことによりVOC大気排出量は、基準年の排出量から90%以上の削減となった。</p>
以上

(その三)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 1	5 2	5 9							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策1として、現在、原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、JET燃料油のタンクは全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、タンクのVOC対策は、本条例の基準年度以前に全て完了しており、これらのVOC対策済タンクの維持・管理を適切に実施した。
2. 対策2の第1陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の積み込み時に発生するVOC対策としてVOC回収装置（吸収溶剤灯油）を既に設置（第1：昭和63年、第2：平成2年）しており、この設備の維持・管理を適切に行い、VOC回収率85%以上で運用した。
3. 対策3のその他として、少しでもVOC吸収を改善する為に、夏期に対策2の吸収設備に冷却散水を実施した。

(その四)

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所
------------	--------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<p>昭和63年、平成2年に陸上出荷施設にはVOC回収設備を設置した。また、VOC関連タンクも全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、VOC対策は基準年のH12年以前に全て完了している。</p> <p>この為、現在はVOC対策設備の維持・管理を確実に実施すると共に夏期は少しでもVOCの回収効率を上げる為にVOC回収装置に対し冷却散水を実施しているが、外気温の上昇による冷却効果の低下や製品の出荷が大幅に増加した場合、VOC回収率85%以上の目標達成に至らない可能性もある。</p>

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(その三)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	3 1	5 1	5 9						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策1】について
・安定操業に努めました。
【対策4】について
・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収しました。

(その三)

工場又は事業場の名称	富士電機株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) の計画年度の削減率を達成するために実施した対策について、自主的取組計画書の別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施した場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 1	2 9							

その他（1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 について
溶剤の低含有塗料による製品塗装の適用拡大
対策 2 について
溶剤缶の揮発防止蓋の取り付けと励行（指導と実施状況の監視）
対策 3 について
上塗り残塗料の転用（中塗り塗料として使用率の向上、事業所設備の塗装）
及びシンナー回収機による、廃溶剤からのシンナー回収
廃シンナーの回収（リサイクル事業者に売却）

(その四)

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社 本社工場
------------	------------------

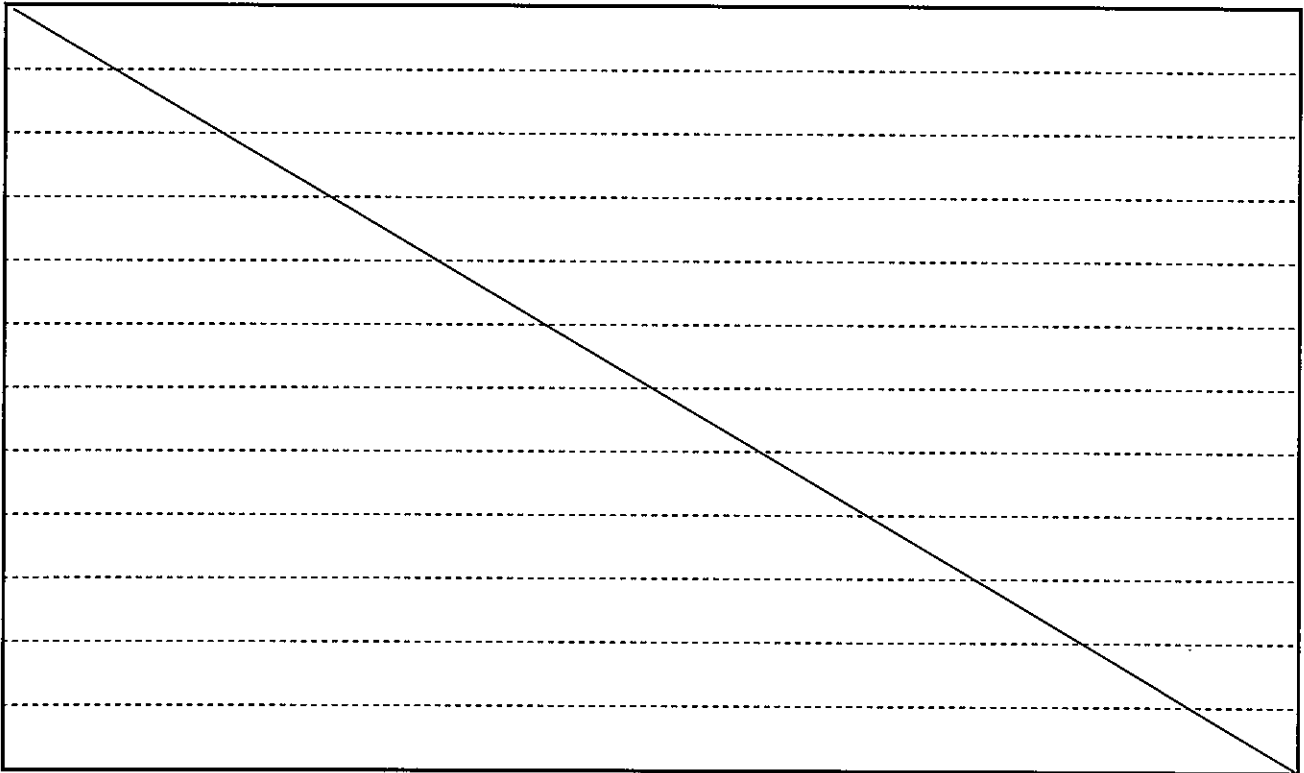
(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
Ⓐ	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
Ⓑ	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
Ⓒ	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策



備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がⒸの場合は、必ず記載すること。

(その四)

工場又は事業場の名称	日産化学工業（株） 袖ヶ浦工場五井製造所
------------	-------------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

<課題>
当工場での製品構成が変化し、低揮発性の有機化合物の使用量が減少し
高揮発性の有機化合物の取扱量が増加しています。高揮発性化合物の増加に伴い
タンクの増設を実施したことで、タンクからの排出量が更に増加しました。
<対策>
水溶性有機溶媒を除去する吸収装置をH23年度中に設置し、H24年度以降は
連続運用しています。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

